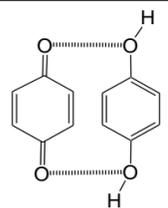


新・演習物質科学ライブラリ1 基礎化学(2刷) 正誤表

ページ	行	誤	正	備考
18	欄外 3行目	の間を 高速 に近い	の間を 光速 に近い	
19	例題1 解3行目	平均 分子量	平均 原子量	
24	10	その波長が 円軌道の整数倍 になる	その波長の 整数倍が円軌道 に等しくなる	
34	23行目	2p _z 軌道の+の記号は 0 ≤ θ < (π/2)と(3π/2) ≤ θ < 2πではcosθが正になることを示している.	2p _z 軌道に示す符号は 0 ≤ θ < (π/2)と(π/2) ≤ θ < πでのcosθの符号の変化を示している.	
36	式2.32	$D(r)=4\pi r^2 R_{nl}(r)^2$	$D(r)=r^2 R_{nl}(r)^2 = 4\pi r^2 [R_{n0} Y_{00}]^2$	
39	図2.24		3d, 4d, 5d, 6d軌道の個数は 5個 , 4f, 5f軌道の個数は 7個	
48	問題1 2行目	の 直径 をそれぞれ	の 半径 をそれぞれ	
71	例題1 解1行目	A(1, 1, 1), B(-1, 1, -1), C(-1, -1, 1), D(1, -1, -1) とな	A(1, 1, 1), B(1, -1, -1), C(-1, -1, 1), D(-1, 1, -1) とな	BとDを訂正
74	15	…電子の分布の 状態 を状態を…	…電子の分布の 状態 を…	
79	図4.25	SF ₆ の場合の…	SF ₆ の場合の…	
86	第5章 式5.2	$U_{ind} = -\frac{2}{3kT} \left(\frac{\alpha_2 \mu_1^2}{4\pi\epsilon_0} \right)^2 \frac{1}{r^6}$	$U_{ind} = -\frac{\mu_1^2 \alpha_2}{(4\pi\epsilon_0)^2} \frac{1}{r^6}$	
87	第5章 式5.3	$U_{dis} = -\frac{3\alpha_1 \alpha_2}{2} \left(\frac{I_1 I_2}{I_1 + I_2} \right) \frac{1}{r^6}$	$U_{dis} = -\frac{3\alpha_1 \alpha_2}{2(4\pi\epsilon_0)^2} \left(\frac{I_1 I_2}{I_1 + I_2} \right) \frac{1}{r^6}$	
87	図5.3	分散力誘起双極子間の相互作用	分散力 誘起双極子間の相互作用	スペースを挿入
89	1	つ物質のHOMOと, ルイス 塩基 物質の…	つ物質のHOMOと, ルイス 酸 物質の…	
91	1	…電子配置は[Ar](4s) ² (3d) ⁵	…電子配置は[Ar](4s) ⁰ (3d) ⁵	
94	図5.15	略		
87	第5章 式5.3	$U_{dis} = -\frac{3\alpha_1 \alpha_2}{2} \left(\frac{I_1 I_2}{I_1 + I_2} \right) \frac{1}{r^6}$	$U_{dis} = -\frac{3\alpha_1 \alpha_2}{2(4\pi\epsilon_0)^2} \left(\frac{I_1 I_2}{I_1 + I_2} \right) \frac{1}{r^6}$	
128	欄外注釈	1億分 の1の略	10億分 の1の略	
131	図7.2	N ₂ + 3N ₂ ⇌ 2NN ₃	N ₂ + 3H ₂ ⇌ 2NH ₃	
160	17	… ΔH と定義する.	… ΔH に等しいとおく.	
166	11	PΔV	Δ(PV)	3か所
167	例題5			
174	23-25	$K = \frac{[H_3O^+][A^-]}{[HA][H_2O]}$ (9.7) 水の濃度は常に一定とみなして平衡定数の中に含んで表現したものを酸解離定数K _a とよぶ(付録8).	$K = \frac{[H_3O^+][A^-]}{[HA]}$ (9.7) 溶媒である水のモル濃度[H ₂ O]は含まれない. このKは酸解離定数 K _a (付録8)とよばれ	[H ₂ O]をとる
174	下から 3行目	水の電離平衡においても 水の濃度は平衡定数の中に含まれて , イオン積K _w で表される.	とも表記される. 水の電離平衡においても [H₂O] は平衡定数に 含まれず , 次式のイオン積K _w で表される.	
175	7	ここでも 水の濃度を一定と考えると , 加水分解…	ここでも [H₂O] は 含まれず , 加水分解…	
197	例題16 解5行目	ファントホフの式(9.43)に数値を代入すると	ファントホフの式(9.39)に数値を代入すると	
213	例題4 解(4)	…e ^{-(k₁+k₂)t} + …	…e ^{-(k₁+k₋₁)t} + …	
221	欄外	Δ _r S° = -198.7 kJ	Δ _r S° = -198.7 J K ⁻¹	
224	付表5	電子質量 単位	原子質量 単位	
236	第2章1	(1) 1.28 g cm ⁻³ (2) 1.28×10 ¹⁵ g cm ⁻³	(1) 1.60×10 ³ kg m ⁻³ (2) 1.60×10 ¹⁸ kg m ⁻³	
236	第2章4	114.6 nm	114.6 pm	
236	第2章7	1.25	図2.25参照	
243	第9章7	K _p = 16.4	K _p = 15.2	